



2021-22
国際ロータリーテーマ



奉仕しよう みんなの人生を
豊かにするために

Rotary
シェカール・メータ

2021~2022年度 標語 諫早西ロータリークラブ
「ビジョンを持って繋げよう未来へ」 会長 毎熊 正太郎



第1705例会 2021年 7 月 14 日例会記録 NO.2 天候 晴れ

【本 日】会員数 45名 出席 40名 欠席 0名 出席率 100.00%
【7/7】会員数 45名 出席 45名 欠席 0名 (MU 0名) 出席率 100.00%

会長の時間



毎熊 正太郎 会長

皆さんこんにちは、今日日本では、コロナワクチン接種が人口の1/3ほど進んでいますが、皆さんいかがですか？私もようやく1回目の接種を済ませました。なかには、怖がって人がしてから様子を見てとか、しない!! などと言われる方もいますが、私は絶対接種しておいた方が良いと思います。早く皆で済ませて、健康な日々をとりもどそうではありませんか。

ところで、西クラブの正太郎丸もようやく出港いたしました。まず目的地は8月11日のハウステンボスまでクルーザーで沖合に出て、夕日を見て、ハウステンボスの花火を見る納涼例会です。計画から準備まで親睦活動委員会の方には、大変お世話になりますが、ナイトクルーズ納涼例会の成功をお祈りいたします。皆様の参加宜しくお願い致します。

幹事報告

【お知らせ】

※ガバナー事務所より

- ①「日本のロータリー 100 周年ビジョンレポート 2020 (本編)」お届けのご案内
- ②「米山記念奨学生の“出前卓話” ご利用のお願い」
申込期限：令和3年8月10日(火)

※ガバナー補佐 森栄一郎様より

「ロータリーの世界を変える行動人：女兒のエンパワメントの推進者」の候補者推薦のお願い
推薦締切日：令和3年7月23日(金)

※諫早市役所(商工振興部商工観光課)より

「第64回いさはや万灯川まつり(水害殉難者慰霊式典) についてのお知らせ」

本年は、水害殉難者慰霊式典のみ開催、一部の関係者で執り行います。

※米山記念奨学会より

- ①「2021-2022 年度 上期普通寄付金のお願い」
- ②「ハイライトよねやま Vol. 256」

会長／毎熊 正太郎 幹事／江嶋 利満 創立日／昭和60年2月20日 認証日／昭和60年3月5日
例会場／平安閣 諫早サンプリエール(毎週水曜日) 〒854-0053 諫早市小川町71-1 TEL (0957) 24-3907
事務局／諫早商工会議所内 〒854-0016 諫早市高城町5番10号 TEL (0957) 22-3323
会報委員／野中 英己・友永 俊介・平野 義信・久保 泰正・浦江 芳征
HP/<http://isahaya-west.com> E-mail/info@isahaya-west.com

※直前ガバナー事務所より

委員会報告

①「小冊子送付のご案内」

- ・2020-21 年度「会員維持増強物語ーロータリアンでよかったー」
- ・2018-19 年度「会員増強物語ーベスト60人の心ー」

親睦活動委員会 長田 副委員長

- ・納涼例会のご案内
- 皆様のご参加お待ちしております。

②「冊子送付のご案内」

- ・Guy Gundaker (ガイ ガンデーガー) から学ぶロータリー

プログラム委員会 原田 委員長

- ・本日委員会を開きます。

スマイルボックス

親睦活動委員会 辻 保行 会員

毎熊正太郎君：昨日一回目接種してきました!! 少し安心しています。

高瀬 善久君：毎熊会長・江嶋幹事、一年間よろしくお願いします。今日は仕事の為、早退します。

野中 英己君：本日より梅雨があけました。待っていました夏です。夏は私の季節です。大いにロータリー活動に励みます。

早田 和彦君：私はワクチン二度目済みました。安心しています。コロナには注意!!

永井 栄次君：二回目のワクチン接種終わりました。何か、気持ちが安心しました。今年は無理かも、来年はみんなで旅行に行きましょう。

本日の合計 (7/14)	累計額
¥10,000	¥153,620

クラブフォーラム

各委員会事業計画発表



川野 弘茂 委員長

◆クラブ管理運営委員会

- ・スムーズにできるようにやっていく



早田 和彦 委員長

◆職業分類・会員選考委員会

- ・会員増強をしっかり意識しながら取り組んでいく
- ・厳格な調査を行う



久保 泰正 委員長

◆ロータリー情報委員会

- ・ロータリーの入会者への特典、メリットを発信する
- ・家庭集会の充実
- ・5クラブ合同の新入会員セミナーの実施
- ・ロータリー情報の共有



吉野 尋隆 副委員長

◆出席委員会

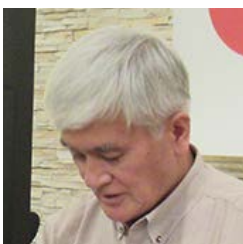
- ・ロータリー出席の奨励
- ・出席率 100% を目指す



長田 篤史 副委員長

◆親睦活動委員会

- ・ビジター、ゲストへの暖かい対応
- ・スマイルへの協力お願い
- ・各種、親睦活動へ積極的に取り組む



原田 典範 委員長

◆プログラム委員会

- ・余裕を持ったプログラムを行う
- ・会員卓話の充実
- ・テーマを絞って行う



宇土 久 委員長

◆記録保存委員会

- ・各事業の記録保存を行う
- ・各年度の雑誌を事務局で保存する



古賀 秀次 委員長

◆職業奉仕委員会

- ・職業奉仕月間における例会時の委員会活動
- ・職業奉仕活動事業



千住 良治 委員長

◆社会奉仕委員会

- ・諫早公園のツツジの再生
諫早市と連携して行う
- ・子ども弁当の実施



永井 栄次 委員長

◆国際奉仕委員会

- ・感染予防対策を強化し行う
- ・リモートによるダービースクール
- ・米山奨学生
- ・フードドライブを行う



佐藤 真太郎 委員長

◆青少年奉仕委員会

- ・ミニバスケットボール協会、ラグビー協会等連携して、規模を縮小し行いたい



山本 健志 委員長

◆会員増強委員会

会員増強・退会防止委員会

- ・新入会員増員 10 名を掲げ、情報を求めている会員選考委員会と連携する



野中 英己 委員長

◆公共イメージ委員会

会報・広報・雑誌委員会

- ・我がクラブを全国へ発信する
- ・毎月一回ロータリーの友の案内を行う
- ・ロータリークラブの意義を高めて積極的に発信していく



辻本 善樹 委員長

◆ロータリー財団委員会

ロータリー財団・米山奨学委員会

- ・米山奨学生の卓話



清水 淳 委員長

◆SAA 委員会

- ・規律を持ってスムーズな例会運営を行う。
- ・例会食事の打ち合わせ

ロータリーの友 7 月号『RI 会長メッセージ』より



2021-2022 年度 国際ロータリー会長 シェカール・メータ

親愛なるチェンジメーカーの皆さん

皆さまとご家族に謹んでロータリーの新年度のお祝いを申し上げます。この 1 年間を「さらに成長し、さらに行動する」ことで、共に人生で最良の年にしましょう。チェンジメーカー（変革者）の年にするのです。まずは会員増強について。

そんなわけでまさに、「Each One, Bring One」という取り組みが非常に重要な意味を持ちます。今年度は、ロータリーが皆さんの地域社会に、そして世界中に広がるような新しい方法を思い描きましょう。各会員が一人新しい人をロータリーに紹介すれば、会員数は 2022 年 7 月までに 130 万人に増えます。今すぐ始めましょう。

ロータリーの仲間が増えたら、私たちはどんな変化を引き起こせるでしょうか。他者のことを思いやる人が増え、

みんなの人生を豊かにするために奉仕する人が増えるのです。さらに成長し、さらに行動することでどれほどの変化をもたらせるか、想像してみてください。会員数が増えれば、これまで以上に大規模で野心的な奉仕プロジェクトに取り組むことも可能になります。それに、これまで通り一人一人が、地域社会のニーズに応じて独自の方法で奉仕活動が続けることもできます。

ロータリーの素晴らしいところは、世界中で人によって奉仕の意味がさまざまであることにありますが、私たちみんなの奉仕に組み込むことのできるテーマがあります。それは女子のエンパワメントです。残念ながら、この時代においても世界中で、女性たちが女性であるが故の困難を抱えています。しかし、ロータリーには男女平等を推し進めていく力があります。教育、医療、雇用における女性の地位向上、そしてあらゆる職業に平等をもたらすための女子のエンパワメントは、これから立案するあらゆるロータリープロジェクトに組み込まれるべきです。女子は未来のリーダーですから、彼女たちが自分の未来を形作るのを後押ししなければなりません。

今、世界は苦難の時に直面していますが、新型コロナウイルス感染症対策における皆さんの活躍には目を見張るものがあります。ロータリアンにとって、克服できない課題はありません。課題が大きければほどほど、ロータリアンは情熱を燃やすのです。ポリオ根絶などの途方もない難題にロータリーが取り組んだときに起こることを考えてみてください。きれいな水や衛生を改善することで、何百万人もの人々の暮らしをよくしてきたことを考えてみてください。平和など実現不可能に思われた地域で、ロータリーが毎年平和を推進していることを思い出してください。ロータリーの基本的教育と識字率向上プログラムには、国家を根幹から支える効果があります。

今年度はそういった国家規模で効果と影響があるプロジェクトやプログラムに、今まで以上に力を入れていきましょう。今年度は、みんなの人生を豊かにしていこうではありませんか。

授けられた最大の贈り物は
誰かの人生に触れる力

変える力、違いをもたらす力
巡りゆく命の中で

手を、心を、魂を
差し伸べるなら

魔法が起こる
歯車が回りだす

共に歯車を回そう
全人類の繁栄のために

私たちには力と魔法がある
奉仕しよう みんなの人生を
豊かにするために。

ロータリーの友 7月号『ガバナーの横顔』より 第2740地区 塚崎 寛ガバナー(長崎中央 RC) 親分肌の理事長

クラブ創立30周年を迎える年に、わが長崎中央 RC にガバナー選出の要請がありました。クラブではパスト会長会を開き、ガバナー選出は大変名誉なことなので前向きに考えよう、と結論を出しました。その結果、満場一致で、塚崎寛さんをガバナーに推薦することになりました。

塚崎さんは入会後30年、例会皆出席を続けており、ロータリーの各事業においても積極的に参加してきた人です。塚崎さんの人となりを紹介しましょう。今から23年前、彼がクラブ幹事の時、私が親睦委員長になりました。家族親睦会として「家族みんなで伊王島に船で渡り、海水浴、バーベキュー、スイカ割りゲームを催す」企画を理事会に諮ったところ、天候や海など危険を伴う要素が多く、家族の参加が少ないのでは？ と後ろ向きな声が多出。しかし塚崎さんは「責任は自分が取ります。安全対策には十分な配慮を行います」と発言、この一言で理事会の承認が下りたというエピソードでお分かりいただけるでしょう。

今回、ガバナー事務所スタッフに対しても、「責任は自分が取る。今後のロータリー活動がより良くなることであれば積極的に行っていこう」。その一言に、23年前と変わらない塚崎さんの性格、人間性が出ています。

私を含め、ガバナー事務所スタッフ一同も、そのおとこ気にほれてガバナーを支持していきます。

長崎中央 RC 岡田 康信

